

第 103 回研究会

記

日 時 : 平成 12 年 7 月 29 日 (土) 13.30~17.00

会 場 : 京大会館 211 室

〒606-8305 京都市左京区吉田河原町 15-9

出席者 : 34 名

1. 講 演

(1) 動圧フォイル軸受の試作

関西大学(院) 塩田 哲男 氏

関西大学 森 淳暢 氏

マイクロガスタービンへの応用に対する各種軸受, 特にフォイル軸受の長・短所について説明の後, 試作した実験装置(リーフ形フォイル軸受)の概要, 運転時の結果(軸とフォイルとの接触, 軸のリサージュ図形など), 減衰要素の減衰性能測定のための実験装置等について紹介.

(2) 熱ほふく流を利用したナノメータ浮上メカニズム(TIL)の基本特性解析

鳥取大学 福井 茂壽 氏

分子気体潤滑の研究を概説し, 分子気体理論で解析される分野の1つとして, 液晶パネルへの真空注入時の排気プロセスのシミュレーションについて紹介. 続いて, 熱ほふく流の説明とそれを応用した TIL(Thermal Induced Levitation) について, 解析手法, 解析結果等を説明.

(3) ウェーハ両面研削盤用エアースピンドル

光洋機械工業(株) 上田 浩一 氏

シリコンウェーハの加工工程を概説し, ウェーハのうねりを取り除くための両面研削, それに用いるスピンドルの要件と構成, エアースピンドルを適用したときの構成, 試作スピンドルのエラーモーシヨンの測定例, 研削加工面の結果等について紹介.

2. その他